

平成 24 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 3 回診療支援部会 議事概要

- 日 時** 平成 25 年 3 月 1 日 (金) 18 時 00 分～19 時 10 分
- 場 所** 滋賀医科大学医学部附属病院 第 4 会議室
- 出席者** 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長：藤山病院長補佐・消化器内科診療科長)、滋賀県立成人病センター (副部会長：鈴木副院長、谷本主任主事)、公立甲賀病院 (井田顧問)、彦根市立病院 (来住内科部長)、市立長浜病院 (伏木放射線科責任部長)、草津総合病院 (中洲脳腫瘍治療科部長)、済生会滋賀県病院 (重松消化器内科診療部長(代理：福森))、長浜赤十字病院 (駒井消化器科部長)、滋賀県歯科医師会 (堀口公衆衛生部委員長)、滋賀県薬剤師会 (小島理事)、滋賀県看護協会 (今堀滋賀医大病院看護師長)、滋賀県放射線技師会 (高橋常務理事(代理：吉村))、滋賀県歯科衛生士会 (山本歯科衛生士)、滋賀県健康福祉部 (角野次長)
- 【準部会員】 滋賀県放射線治療連絡協議会 (芥田会長)
- 【部会事務局】 滋賀医科大学医療サービス課 (奥村補佐、中森専門職員)
- 欠席者** 大津赤十字病院 (副部会長：土井副院長)、大津市民病院 (青木副院長)、近江八幡市立総合医療センター (宮下副院長)、国立病院機構滋賀病院 (来見副院長)、滋賀県医師会 (中野草津栗東医師会副会長)、滋賀県病院薬剤師会 (寺田会長)
- 【準部会員】 滋賀医科大学医学部附属病院 (醍醐腫瘍センター長)

議 題

(1) 先進的 (高度) な医療について

前回の当部会で議論した内容をふまえて調整したホームページの案を提示し議論した。部会員から次の意見があった。

- ・地図から位置関係が確認できて、クリックで当該機関の先進的医療、全体一覧が確認でき、病院のホームページにもリンクしているのでよいと思う。
- ・県のホームページTOPから協議会のホームページにたどり着くことが困難である。せめて、TOPページから1～2クリックで行きつくようにする必要があるのではないか。(県として、少しでも明解になるよう検討していく。協議会のレイアウトについても、より明解になるよう検討しているので今しばらくお待ち願いたい。)
- ・患者側からすれば、がん種から展開する情報の方が良いのではないか。(次年度の課題としていきたい。さらに、相談支援部会とも連携をとる必要もある。)

・一覧表の放射線治療の項目は、一般対象にするには項目が多いので、整理すべきではとの提案があり、定位放射線治療呼吸性移動対策、対外照射呼吸性移動対策の項目を削除することとした。

以上より、提示案を一部修正のうえ協議会ホームページに掲載することとした。

(2) 平成 24 年度の取組結果及び 25 年度の取組予定について

○平成 24 年度取組結果について

- 第 1 回診療支援部会開催 平成 24 年 6 月 22 日
第 2 回診療支援部会開催 平成 24 年 10 月 4 日
第 3 回診療支援部会開催 平成 25 年 3 月 1 日

1)先進的（高度）な医療について

議題（1）のとおり（本協議会ホームページへ、先進的（高度）な医療を実施している病院、医療内容などを掲載して滋賀県地図からクリックして閲覧できるようにする。）

2)診療支援推進の仕組みの検討等

「滋賀県がん診療人材バンク構築に向けて」とあるが、「滋賀県がん診療人材情報バンク構築に向けて」とし、人材の情報をお互いに共有する方向で検討し、方法としてメーリングリストを通じて可能な限りの情報を共有していくこととした。専門領域、得意領域の情報を医師に限らず、薬剤師、専門看護師等の情報も共有していくこととした。現在部会員のうち21名によるメーリングリストにより運用している。

3)高度医療の推進、臨床試験の推進に関する取組

医師主導治験を軸に、紹介元の医療機関との緊密な診療支援体制のさらなる構築を目指すこととし、医療機関で取り組んでいる治験を情報共有していき、将来は更に踏み込んで、滋賀医大臨床研究開発センター活用を図っていくことを検討していくこととした。

4)平成24年度の各種団体取組について

部会各団体等から次のとおり報告があった。

・滋賀県医師会

滋賀県のがん診療のレベルアップとさらなる病診連携推進の目的で次の学会を開催した。
平成24年11月23日（金）第29回滋賀医学会総会 於：コラボしが21 94名参加
テーマ「超高齢化社会を見据えた病診在宅がん診療の取組」
滋賀県からの委託事業である「全がん患者登録管理事業」を実施

・滋賀県病院薬剤師会

以下のセミナーを行った。

- ①「レジメン」って何だろう、平成24年6月23日（土）、滋賀医科大学・臨床講義室3、参加者179名、平成23年度に滋賀県下の全保険薬局と病院薬剤部に配付した滋賀医大レジメン集を利用して、医師、薬剤師から代表的なレジメンの説明を行った。
- ②「がん専門薬剤師セミナー」、平成24年9月29日（土）、滋賀医科大学・臨床講義室1、参加者41名、ポスターと参加者リストは別添参照、症例検討会では、消化器、乳腺、呼吸器を専門とする医師にも参加して頂き、医師からのコメントを頂いた。
- ③「カペシタビン（ゼローダ）を究めよう」、平成24年12月1日（土）、滋賀医科大学・臨床講義室3、参加者101名、医師、薬剤師、メーカーの立場から、ゼローダについてセミナーを行った。
- ④「滋賀県がん薬物療法セミナー」、平成25年2月28日（木）、草津エスタピアホテル、滋賀県病院薬剤師会・がん薬物療法小委員会と持田製薬の共催で、バイオシミラーの役割と今後の展望について講演会と意見交換会を実施した。

・滋賀県看護協会

平成23年度の結果を基にがん看護に関する情報交換等に関する取り組みを具体的に進めていく予定で、がん看護に関する専門分野を持つ看護師間のネットワークを構築し、ジェネ

ラリストが利用できるように情報公開する方向で取り組んだ。経過の中で診療支援により取り組むために看護協会としての方針の転換から、実現には至らなかった。

・滋賀県放射線技師会

主に技師対象の講演会を開催した。

- ・6月30日 「頭頸部がんの診断と放射線治療」
- ・11月11日 「泌尿器がんの診断から治療まで」
- ・1月19日 「乳がん検診へようこそ」、「婦人科がんの診断から治療まで」

・滋賀県薬剤師会

- ・薬局における医療材料等の在庫共有システムの構築
- ・在宅ホスピス薬剤師のフォローアップの実施（研修会2回）
- ・無菌調製研修会の実施（4回）
- ・ホームページの情報（薬局における訪問薬剤管理指導応需体制に関する情報等）更新

・滋賀県歯科医師会

日本歯科医師会と国立がんセンター連携事業講習会よりがん手術と口腔ケアについて、がん対策推進における歯科医師の役割について、院内教育、がん拠点病院と地域歯科医師会の連携構築などについて研修を行った。

・滋賀県歯科衛生士会

- ・フォーラム、各拠点病院・各団体ががん診療研修会への参加（情報周知）
- ・がん診療研修会（平成24年度 第6回 滋賀県歯科衛生士会生涯研修）2/24
 - ① 「滋賀県がん診療連携協議会での歯科衛生士の役割と報告」
各担当部会報告
 - ② 「がん患者を取り巻く状況：がん医療、緩和ケアの動向」
講師 杉江礼子氏（がん看護専門看護師）

・滋賀県放射線治療連絡協議会

当協議会の主催で下記の2回の勉強会を行った。

- ・平成24年6月16日第8回滋賀放射線治療勉強会を滋賀県立成人病センターの当番で同センター東館講堂にて開催し33名の参加があった。
- ・平成25年1月26日第9回滋賀放射線治療勉強会を滋賀医科大学附属病院の当番で瀬田アーバンホテルにて開催し39名の参加があった。
また、県内で開催されるがん診療に関する（特に放射線治療に係る）講演会、フォーラム等への会としての協賛、後援を行った。
- ・平成23年11月17日開催の「肺がん撲滅デーに県民公開講座」於：成人病センター
- ・平成24年2月19日開催の「市立長浜病院がんフォーラム2012」など

○平成25年度取組予定について

1) 先進的(高度)な医療について

5大がんから展開するホームページの掲載を進めていく。

2) 診療支援推進の仕組みの検討等

平成24年度に作成したメーリングリストを活用して可能な限り情報を共有していく。治験情報、セカンドオピニオンなどの情報提供、各病院及び団体からの情報発信を積極的に進めていく。協議会情報もこのメーリングリストで情報提供していきたい。

3) 平成25年度の各種団体取組について

部会各団体等から次のとおり報告があった。

・滋賀県医師会

平成24年度に引き続き、「がん診療」をテーマとした滋賀医学総会を開催する計画である。各地域医師会との連携のもと、会員医療機関においてがん地域連携パスが円滑に有効に運用されるよう、周知し協力依頼を発信する計画である。
例年通り滋賀県からの委託事業である「全がん患者登録管理事業」を実施する。

・滋賀県病院薬剤師会

・平成24年度に引き続き、セミナーや講演会を実施し、薬局薬剤師と病院薬剤師にがん薬物療法の情報を継続的に提供する。
・病院薬剤師を対象にした症例検討会、あるいは症例報告会を充実させ、病院間の相互交流をさらに進める。

・滋賀県看護協会

がん診療連携の観点から、がん看護のレベルアップを期待してジェネラリスト看護師の研修を計画している。

①実践で活かそう「在宅でもできるリンパ浮腫ケア」

開催日：10月4日（金） 会場： 看護研修センター

②テーマ： エンド・オブ・ライフ・ケア～終末期の看護を学ぶ～

開催日： 2月14日（金）、15日（土） 会場： 看護研修センター

・滋賀県放射線技師会

小児領域、消化器領域のがんをテーマに研修会を開催する予定
(研修会は基本的に他の医療スタッフの参加も受け入れている。)

・滋賀県薬剤師会

平成24年度の事業を継続していく。
・在宅ホスピス薬剤師(県薬剤師会認定)のフォローアップ(3年毎に新規要請していく予定)
・医療用品共有システムの普及
・在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの検証および修正
・滋賀医大や成人病センター等で行われているがん関連の研修会への参画

・滋賀県歯科医師会

他団体と連携を密にし、特に口腔ケアについて会員への周知と質的向上のための研修を行う

・滋賀県歯科衛生士会

- ・がん診療の情報提供
- ・フォーラム、各拠点病院・各団体がん診療研修会への参加（情報周知）
- ・がん診療研修会
 - 平成25年度 滋賀県歯科衛生士生涯研修として企画
 - ・在宅・診療所での取り組み
 - ・口腔内トラブルとその対応
- ・滋賀県放射線治療連絡協議会
 - 例年通り、年2回の協議会および勉強会の開催を予定している。
 - その他、県内で開催されるがん診療に関する（特に放射線治療に関係する）講演会、フォーラム等への会としての協賛、後援を引き続き随時行っていく予定である。

（3）滋賀県がん対策推進計画(最終案)について

滋賀県健康福祉部 角野次長から、改定最終案については、パブリックコメントを終え、皆様方からの意見を可能な限り盛り込んだ内容になったと考えている旨説明があり、当部会で関係の深い、第5章 分野別施策および目標のうち、「3 がん医療」及び「4 医療機関の整備等」について、取組、方向性の説明があった。

「4 医療機関の整備」において、⑩がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院の特徴を活かした分担のために、各病院の実態を把握し、検討を進めるとしていることから、本部会で、他府県の機能調査表を参考にして、各病院の機能分けを検討願いたいとの依頼があった。

各病院の機能調査については、県から資料の提示があり次第、拠点病院、支援病院にお願いしていくこととした。

（4）その他

本部会の平成25年度取組予定について次の意見があった。

・診療支援推進の仕組みの検討等については、機能の分担、連携と考えている。第一次計画に基づいて、二次医療圏に1か所の拠点病院として進めてこられたが、過疎地域においては現実的でないので、今後は、1つ1つの病院で完結するのではなく、地域で結びついた診療機能を整えていく必要があるのではないかと考えており、これをいかに策定して具体にしていけるかが本部会の仕事と思う。

県の推進計画にも目標として掲げてあるが、平成30年度からは、選択と集中を推進して、良い機能体としてのがん医療を進めていく役割を担っていると考えるので、行政と協力しながら本部会でやっていければと思う。

- ・滋賀医大で、がん薬物療法認定医を取得できた。（唯一の過疎圏でなくなった。）

○配布資料

診療支援部会 部会員名簿

- (資料1) 先進的（高度）な医療について
- (資料2) 平成24年度取組結果及び平成25年度取組予定について
- (資料3) 各団体の取組について
- (資料4) 滋賀県がん対策推進計画（改定最終案）